

雨に咲く花

「およばぬこと/あきらめました/だけど恋しい/あのひとよー。学生時代の昭和初期のヒット曲「雨に咲く花」をよく口ずさんだそうです。世界には俊秀な人間がごまんといいます。格段の才能をいちいち妬んでも始まらない。そんな心境を歌声に込めたのだと言います。18日に亡くなられた広中平祐さんです。

広中流しの「あきらめる」とは、すべてを投げ出す意味ではなく、余計な嫉妬心を捨てて焦らず目標をしっかり見据えて歩む。数学者は早熟で天才肌。そんなイメージを覆す遅咲きの努力型だった。「天才良し。秀才良し。しかし鈍才これまた良し。」がモットーだと話していた。世界を驚かせた「特異点解消の定理」はさっぱり理解できなくても、残した足跡の重みはよく分かる。

広中さんの提唱で始まった「算数オリンピック」は30年以上続く。大学の学長に就き、親友の小澤征爾さんに請われて音楽祭の財団理事長も務めた。80歳を超えて新たな論文に挑む姿もまた「鈍才」の面目躍如だろう。

10年ほど前の講演で理想の最期をこんな風に語っています。「棺桶に入るときに涙を出して微笑みたい。」人生でなした仕事に、他の難問を解き、優れた後進を育て、子供たちに学びの喜びを伝えた。94歳での旅立ち。その瞬間に大粒のうれし涙があふれたと想像する。

鎌野



資源

先月の「木配り」で日経平均が史上最高値を更新というお話を書きました。その後も、日経平均が60,000円に届きそうだったのですが、その何日か後の2月28日にアメリカとイスラエルがイランに戦争を仕掛けて株は大暴落し、3月31日9:30現在、あっという間に50,689円にまで下落しています。政府が推奨しているニーサで投資をしている日本人は爆発的に増えており、皆さん大損をしていることでしょう。とにかく早く戦争を終結してほしいですね。金の価格も上がっていたのですが、本当の有事の際には金も現金化されて、金の価格も株ほどではないですがかなり下がっています。円安も進行していてガソリン価格がみたことのない勢いで上がり、政府の補助金を使っても170円/ℓという価格です。考えてみれば、80年前に終戦を迎えた第二次世界大戦の時も、日本は石油が手に入らなくなり、アメリカや世界に向けて戦争を仕掛けました。80年経った今も、その状況が変わっていません。日本の政府や民間も含め、我々日本人はこの80年間、一体何をしていたのでしょうか。世界全体がいずれ枯渇する化石燃料に依存した社会を、楽だからコストが安いからとずるずると続けているのです。戦後日本が世界の工場として発展したのは、原子力発電による安い電力があったからに他ならず、化石燃料資源を持たない日本は原子力発電に頼るしかありません。もちろん、安全性を高めて2度と事故を起こさないということが前提です。そちらの方が、戦争するよりもよっぽどいいと、私は思います。戦闘機・ミサイル・武器等に投資するお金があるならば、核融合やレアアースの方に投資して兎に角、資源を巡っての戦争が起きない世の中になって欲しいと願います。日本はエネルギー資源だけでなく、いまや食料でさえ自国で賄えない国なのですから。

英樹



配り

第
322
便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237
〒412-0035 御殿場市中山518番地

玄関を開ければ大気の澄み渡り
ホーホケキョの声姿を探す
ねがみともみ



夜明け前のそぼ降る空にまたたける
星ならぬ星や人工衛星
勝亦りつ子



風通し

最近 SNS で自宅建設中の現場写真とともに「これは施工不良ではありませんか？」のような質問をする投稿を見かけます。そういった投稿のほとんどは何も問題のないものであることが多いのですが、ほとんどのお施主さんは建築に関しての専門知識は無く、我々建築業者を頼って工事をするのですし、新築工事にしろ、リフォーム工事にしろ、決して安くはない金額をお支払いいただく訳ですから、心配になるお気持ちはよくわかります。

工事の内容や施工箇所で気付いたこと、疑問や不満があればすぐに監督（つまり僕です）に聞いてください。忙しそうだからだとか、こんなくだらないこと聞くのは・・・なんていう事は全く気にする必要は無いのです。どんどん聞いて下さい。それが現場監督の仕事ですから。

施工者は工事に際しては構造強度や法規を考慮しながら作業を進めます。もちろんプロですから手落ちがあってははいけません。ですが、人間が作業をする以上、見落としやうっかりミスなどは完全には防げない物です。そのために我々監督が目光らせるのですが、それも「ちゃんとした職人さんだから問題なくやっているだろう。」という正常性バイアスによって見落とすことが無いとも言い切れません。ですから、お施主さんからの目でも確認していただけるのは有り難いことなのだと僕は考えています。

最近はお施主さんも情報が簡単に手に入り、加えて多種多様な工法があり、法改正なども重なり、我々も逐一新しいものを取り入れていかななくてはならず、現場が世の中の流れについていくのが大変なのですが、お施主さんからはふとした疑問を気軽に聞いてもらえる、工事中も工事後も納得していただける、そんな風通しのよい現場で居られたらいいなと思います。それが出来ればわざわざ SNS で疑心暗鬼に投稿されることもないでしょうからね。

でも、作業中の現場には危険もあります。確認の際は必ず現場に立ち入りができるかを確認してからお願いしますね。

柳田敏和



ポテトチップス

山芳製菓のポテトチップス“わさビーフ”が重油不足により生産停止となったニュース、食したことはないが、のほほんとして生きていた私ですら「まずいな」と正直思った。今は生産を開始しているようです。イラン情勢は混沌としホルムズ海峡が事実上、封鎖され重油が日本に届かない。日本のエネルギー自給率は約 12%ほとんど外で調達しなければ今現在の生活はできない。原子力発電は石油が必要で、代替エネルギーといっても太陽光発電は蓄電池がないと、その蓄電池を作るにも石油が必要、風力発電も採算が合わないらしくどこかの企業は撤退すると。火力発電となると化石燃料か木材。石炭を採掘するまで時間がかかり、森林伐採して新しい木が育つのに何年かかる？水力発電は雨が降らないことには、となる。重油が調達できにくくなると、車の燃料、ガス、電気、石油で作られるものすべてに影響し値は上がる。最近 TV で流れた春闘で大企業は賃上げ満額回答といていたが、中小企業は同じことはできない。そこへきて 4 月からは増税で社会保険料に「子ども・子育て支援金」が上乗せ。8 月は高額療養費制度の自己負担額の上限が引き上げ等等。先の選挙で叫んでいた消費税減税なんて吹っ飛ぶ。いったいこの先どうなるのだろう。ともかく戦争を止めて！って誰が止められるのだろう？資源がない国は弱い。鎖国していた時期は農耕中心だったんだから、農耕民族に戻るか？いやまて化学肥料は石油がないと・・・ん～しかし、ただの土でも作物は作れる、贅沢を言わなければ。いやまて、F1 種は種が作れないぞ・・・在来種を探さないと・・・。

“わさビーフ”からいろいろ考えさせられる。



ねがみ

春です

世の中に たえて桜の なかりせば 春の心は のどけからまし 在原業平(ありわらのなりひら)

世の中に、もしも全く桜がなかったなら、春を過ごす人の心は、ゆったりとしてのどかであろうに。桜は開花までが待ち遠しく、ようやく満開になったと思ったら雨や風ですぐに散ってしまい、開花状況に一喜一憂して気持ちが落ち着かないものです。それならいっそ桜がなければ、という歌ですが、これは桜を愛でる気持ちの強さを言うものです。出典は『伊勢物語』です。この歌には反歌があります。

散ればこそ いとど桜は めでたけれ 憂き世になにか 久しかるべき 散らないで欲しいという歌に対して、散るからこそ桜は美しいと返した有名な和歌です。確かに、一年中桜が満開であったら、あえてお花見をして桜を愛でようとはならないかもしれません。

